

城西エクステンション・プログラム

JOSAI KIOI CLUB

カヤグム 伽倻琴レクチャー&コンサート

—伽倻の国から届く音—

■後援 駐日韓国大使館 韓国文化院
城西国際大学韓国文化研究センター
JIUグローバルユース

日時 2008年12月19日(金) / 13:30開演

場所 学校法人城西大学 東京紀尾井町キャンパス 地下ホール
入場無料 先着150名(要申込)

[プログラム]

🌀 レクチャー / 13:30 ~ 14:00
「伽倻琴の魅力」 〈講師〉朴京美

🌀 コンサート / 14:15 ~ 15:00
伽倻琴独奏 「成錦鳶流伽倻琴散調」
伽倻琴併唱 民謡メドレー「トラジ」「陽山道(ヤンサンド)」ほか
〈演奏〉金美仙・成錦鳶カラク保存会

🌀 懇親会 / 15:00 ~ 16:00

韓国古楽器

伽倻琴(カヤグム)

伽倻(カヤ)は、いまから1500年前に朝鮮半島南東部にあった小さな国です。その名は12絃の絃楽器に残り、時代を越えて民族のこころをつまびいてきました。その魅力をお話と演奏でお伝えします。

伽倻の国から届く音



가야의 나라에서 우리 소리

◎講師／演奏者紹介



朴京美 (パク・キョンミ)

詩人、和光大学表現学部講師

東京生まれの在日韓国人2世。伽倻琴、伝統舞踊、ボジャギや服飾文化など朝鮮半島の民族文化を研究している。伽倻琴を池成子先生に師事。池成子伽倻琴研究所研究生および成錦蔦カラク保存会会員。

主な著書に『いつも鳥が飛んでいる』『ねこがねこ子をくわえてやってくる』



金美仙 (キム・ミソン)

伽倻琴奏者

韓国生まれ。幼少より伽倻琴と伝統舞踊を習い、韓国慶尚南道晋州市立国楽院修了後、晋州市立舞踊団第一期生で活動する。1988年来日。伽倻琴の演奏活動とともに、金美仙伽倻琴教室を開き、韓国伝統音楽の普及につとめる。伽倻琴を申淑先生、金秀寒先生、池成子先生に師事。池成子伽倻琴研究所研究生および成錦蔦カラク保存会会員。

主な公演に「韓日親善文化交流の夕べ」「至玉の名華 李梅芳と池成子の世界」「アジア音楽祭 伝統弦楽器の調べ」「ソリの道をさがして」

伽倻琴奏者 金幸子、宋幸子ほか／鼓手 崔美子

ソングムヨン

成錦蔦カラク保存会について

1978年、在日同胞たちに伽倻琴など韓国の伝統音楽を通じ、韓国の文化や歴史により深く触れ合う場として、伽倻琴奏者、池成子が東京で「池成子伽倻琴研究所」という名称で設立。

池成子は韓国ソウル生まれ。伽倻琴散調の華と謳われた成錦蔦を母に、韓国伝統音楽演奏家／研究者、池瑛熙を父に、幼少より研鑽を積む。1969年来日以降、伽倻琴の演奏活動とともに韓国伝統音楽や舞踊の普及、後進の育成に心血を注いできた。1990年、代表である池成子が韓国に帰国したことに伴い、「成錦蔦流伽倻琴散調」と「15絃伽倻琴創作曲」を継承・発展させるため「成錦蔦カラク保存会」と名称をかえ、今日に至る。

成錦蔦カラク保存会は、広く伽倻琴を紹介することにも寄与しながら、定期的な研究、発表、公演を行い、成錦蔦の音楽世界に関する書籍、音盤なども製作・発刊している。伽倻琴を通じてまさに、韓国と日本の文化交流の懸け橋ともなっている。1994年以来、毎年「通信 伽倻琴」を東京で発行。

主な公演に「秋をひらく伽倻琴の音」(韓国全羅道立芸術会館)、「至玉の名華 李梅芳と池成子の世界」(東京スパイラルホール)「ソリの道をさがして」(韓国国立国楽院ウミョンダン)

最新刊に、伽倻琴楽譜集『池成子 伽倻琴独奏のための南道民謡・雑歌 ソリの道をさがして』

(韓国／図書出版土香 <http://www.tohyang.co.kr/>)

CD『池成子 伽倻琴独奏のための南道民謡・雑歌 ソリの道をさがして』

(韓国／HWAEUM TOPCD-122 www.gugakcd.com)

【お問い合わせ・お申込み先】

城西大学 城西国際大学
東京紀尾井町キャンパス
城西エクステンション・プログラム事務局

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-26

TEL 03-6238-1400

FAX 03-6238-1399

E-mail kioicclub@jiu.ac.jp

※電話受付時間／月～土 10:00～18:00

(日・祝祭日休)

Access Information



- 地下鉄有楽町線
- 地下鉄銀座線
- 地下鉄南北線
- 地下鉄丸ノ内線
- JR線

- 地下鉄有楽町線
麹町駅 1番出口より
徒歩3分
- 地下鉄南北線
永田町駅 9番出口より
徒歩5分
- 地下鉄丸の内線／銀座線
赤坂見附駅 D出口より
徒歩8分
- JR中央線・総武線
四ツ谷駅より徒歩10分